

中

光子 田あお右、さあかへりませる。おんあ
 の病氣なさはるといけませんのら。
 秀作 あゝ……
 上手へ寝る。
 (井藤山と左の)が上手から登場。
 カンテラを下げている。
 井藤山 へいへい……旦那さまですか。
 秀作 井藤山か。もういゝ加減にして家は
 引渡してくれ。おしん病人のことおしするの。
 井藤山 ええ……お引渡し
 いんますと云。そりや明日にでもお渡しし
 たりますよ。おれは後雨はどうでもか
 さらあつちや。それだけまた餘分にかつ
 右のたうり仕方ありません。
 秀作 お前はまだ同じことを言つてはわ
 けが甚しめのの。わしがかぎたへ丈夫お
 りそりやそれくらゐの金は何と出しては
 ようが。このおれは何かおきぬ。井藤山、
 (おれ)わしは軽か、さうせんふとをいは
 いで明日もあの家はわしに引渡してくれ。

MARUZEN I

